



# のいる風景

## 宮川 朋子 さん



【みやかわ ともこ さん】 旭ヶ丘

●ラポールエイム代表

次のサロンは、8月28日(日)に桂木町内会館で開催します。参加料は300円(お茶代ほか)お問い合わせは 090(7518)3661 宮川さん

### ほっとできる癒やしの時間を提供したい

**高**年齢の方や介護をしている方など、年齢を問わず、くつろぎながら癒やしの時間を過ごせる場を提供している団体「ラポールエイム」。

以前から「地域の方が歩いてこれる距離で気軽に集える場所をつくり、気持ちを安らげてもらいたいと思っていました」と話すのは、代表を務めている宮川さん。

認知症の理解を深めてもらうための研修や情報交換などを行う「認知症の人を支える家族の会」は「まなすの会」に所属し、活動を続けていくうちに「いつかは自分も誰かのお世話になることがあるはず。元気な今のうちに、たくさんの方の力になれば」と思ったことが活動を始めるきっかけになったという。

フランス語で「つながる心」を意味する「ラポールエイム」は、同じような思いを抱くメンバー5人で平成27年7月に結成し、市内のさまざまな地

域で月1回の移動コミュニティサロンを開催している。

「和紙で人形や本のしおり、つまようじを入れるケースを作ったり、はがきサイズのパステル画制作、和太鼓の演奏、クリスマス時期にはバイオリンやピアノの演奏会などを実施しています」と毎回、サロンの内容を工夫している。

「お茶やお菓子を手に、お話を楽しむ方もいます。また、癒やしの空間として、資格を持ったメンバーによるヘッドマッサージやフットマッサージを受けられるコーナーを設けたり、地域包括支援センターの職員に協力をいただき、介護や認知症など身近な相談に対応することもあります」と話す。

これまで向陽台支所内にある地域包括支援センターや社会福祉協議会、総合福祉センター、日の出南町内会館などでサロンを開催してきた。

「訪れた方から『また演奏を聴きたいわ』、『次のサロンはいつ開くの?』とにこやかに声を掛けていただくことがあり、そのときは満足してもらえた実感できる瞬間ですね」と笑顔を見せる。

「演奏会では、プロの音楽家の方、サロンのさまざまなイベントは、『まなすの会』の会員などがボランティアとして支えてくれます。多くの方のつながりがあって、ここまでサロンを続けることができます」と振り返る。

「少しでも気持ちが癒やされる空間を提供するため、これからもいろいろな企画を考えていきます。たくさんの方に『ここに来たらほっとできる』と思ってもらえたら嬉しいですね。興味のある方は、ぜひ、一度、サロンに足を運んでください」と宮川さんは優しく語りかけるように話してくれました。